

LB 会報



2017 年12月 No.18一般社団法人東大 LB 会機関紙

編集者：吉澤伸明 （現役）俣野泰佑

2018年は百周年です！2月に新部室に完工、記念事業を皆さんの参加で！

男子部：都リーグ2部6位で、1部復帰できず。百周年の来期こそ、1部復帰を！

女子部：関東大学女子サッカーリーグ3部(目標は5位以上でしたが)10位。部員は増加し奮闘！

来期こそ全員の力で1部復帰を目指します！

創部5周年。LB会が贈った新ユニフォーム姿



新部室（12/11撮影）ほぼ完成し、内装等に取り掛かる

御殿下サッカースクール（日曜8時40分～10時）



百周年記念事業（以下は現時点での予定ですので、必ず事前にLB会事務局、現役等にご確認ください）

1. 新部室お披露目の立食パーティー；3/17(土)13時(予定)新部室(寄付者の銘板を掲額予定P17で確認を！)、
2. 5月祭の企画(5月中旬)；百周年にふさわしい内容を企画します。今年の5月祭は、今号に特集(P9-12)
3. 京大戦；7/29(日)に御殿下Gで開催(前夜祭も7/28に予定)、現役戦、OB戦ともに盛り上げましょう！
4. 百周年記念誌(御殿下サッカースクールの50周年記念誌も合わせて)の編集・発行；2018年秋を目標に作業を開始しています。百周年記念グッズについても検討中。
5. 百周年記念パーティー；12/8(土)18時より(予定) 内容はこれから。帝国ホテルを予約しています！

今シーズンを振り返って（利重孝夫総監督）

5年間務めた監督から一步退き、総監督として携わった2017年シーズン。思い返せばこんな一年でした。

現役関連では、

- ・東京ユナイテッドの元日本代表、岩政大樹選手がア式蹴球部コーチ兼任となる
- ・男子現役、京大戦4年ぶりの敗戦、東京都2部では昇格争いに絡めず6位に終わる
- ・女子現役、部員も増え関東3部で奮闘

また、その他ア式周辺の活動、状況として、

- ・御殿下サッカースクール、久々に夏の山中湖合宿を実施、親子含めて23名が参加
- ・ア式蹴球部百周年1年前、記念事業準備本格化
- ・改築工事のため、部室が丸々1年使えないことに（来年早々に完成予定）
- ・御殿下、農グラともに人工芝の老朽化が顕著、怪我などのリスク懸念増大
- ・現役部員の父兄会が定期的開催され、私自身もゲストとしてお招きを受ける

もう一つ、他大学や連盟の動きとして

- ・立教、41年ぶりの関東2部昇格決定
- ・一橋、良かれと思って始めた地域活動が仇となり部活動停止処分、リーグ戦後期全試合不戦敗を余儀なくされることに
- ・都学連幹事長にア式中途退部者が就任、様々な新たな活動を展開

来年は創部100周年。ア式蹴球部現役、OBにとって素晴らしい1年になりますように。私も少しでも貢献できるよう引き続き尽力してまいります。

以上

男子部の活動報告

東京都大学サッカーリーグ2部 6位(6勝8敗4分、勝ち点22、得点21、失点21)

	対戦相手	日時	場所	結果
第1節	首都大学東京	4月30日 14:40ko	御殿下G	△1-1(多田)
第2節	亜細亜大学	5月7日 11:00ko	亜細亜大学	△1-1(多田)
第3節	玉川大学	5月14日 14:00ko	御殿下G	●1-3(多田)
第4節	成城大学	5月21日 14:40ko	御殿下G	●0-1
第5節	東京工業大学	5月28日 16:40ko	御殿下G	●1-2(中沖)
第6節	日本大学商学部	6月4日 14:40ko	御殿下G	○2-1(武田、多田)
第7節	上智大学	6月11日 13:10ko	東京経済大学	●1-4(白藤)
第8節	学習院大学	6月18日 14:40ko	御殿下G	△2-2(多田×2)
第9節	日本大学生物資源科学部	6月25日 15:40ko	御殿下G	○2-1(箭川、寺山)
第10節	首都大学東京			□3-0(不戦勝)
第11節	亜細亜大学	9月3日 14:40ko	御殿下G	△0-0
第12節	玉川大学	9月10日 14:40ko	御殿下G	○1-0(井小路)
第13節	成城大学	10月29日 12:00ko	御殿下G	●0-1
第14節	東京工業大学	9月24日 10:30ko	東京工業大学	○3-0(中村×2、武田)
第15節	日本大学商学部	10月1日 12:00ko	御殿下G	○3-1(多田×2、箭川)
第16節	上智大学	10月8日 12:00ko	御殿下G	●0-1
第17節	学習院大学	10月15日 12:00ko	御殿下G	●0-1
第18節	日本大学生物資源科学部	10月22日 12:00ko	御殿下G	●0-1

2部 (-10/29第18節)

順位	チーム	勝点	試合数	勝	負	引分	得点	失点	得失点
1	上智大学	39	18	12	3	3	44	18	26
2	学習院大学	39	18	12	3	3	38	16	22
3	亜細亜大学	38	18	11	2	5	37	13	24
4	玉川大学	35	18	11	5	2	36	19	17
5	成城大学	26	18	7	6	5	19	23	-4
6	東京大学	22	18	6	8	4	21	21	0
7	首都大学東京	18	18	5	10	3	18	35	-17
8	東京工業大学	17	18	5	11	2	18	38	-20
9	日本大学生物資源科学部	15	18	5	13	0	18	32	-14
10	日本大学商学部	7	18	2	15	1	15	49	-34

リーグ戦開幕前のアミノバイタル杯、シーズンの行方を占うこの大会では、今季同じ2部で昇格を争うであろう上智大学に敗れ、早々に敗退しました。内容も完敗であり、このままリーグ戦に臨んでしまっはまずい、と全部員が危機感を抱き、改めて自分たちの現在地を認識しつつ、適宜修正を加えながらリーグ開幕を迎えました。

開幕戦の相手は首都大学東京でした。開幕戦特有の緊張感もあり、相手を大きく上回る16本のシュートを放ちながらも、結局終了間際のPKでの1点に留まり、引き分けに終わりました。続く亜細亜大学戦も、先制しながらもミスから追いつかれ、例年同様うまくスタートダッシュを切ることができませんでした。そこから玉川大学・成城大学に連敗を喫し、第5節には東京工業大学にも1-2で敗れてしまいました。戦力を比較しても、絶対に負けてはならない相手に敗れてしまったことは非常にダメージの大きいものでしたが、何とか戦意を奮い立たせて次節の日大商学部戦で今季初勝利を挙げられました。しかしそこからも勝ち負けを繰り返し、前期を2勝4敗3分け勝ち点9の6位で折り返しました。

昇格へ向けて後期は後がない中で、夏の中断期間にはシステム変更に踏み切り、3バックシステムを導入しました。頭角を現してきた1年生も積極的に選出し、新主将のもとでチーム一丸となって後期勝ち点を積み上げるだけの準備を行うことは、ある程度できていた中断期間でした。

後期開幕節の首都大学東京戦は不戦勝となり、肩透かしを食らう形にはなってしまいましたが、続く亜細亜大学戦では勝利できなかったものの、優位に立ってゲームを進めることが出来ました。この試合で手応えを得て、自信を深めて臨んだ次節の玉川大学戦では前期完敗した相手に粘って勝利し、台風の影響による延期を挟んで東京工業大学・日大商学部と連勝し、ギリギリ昇格ラインも見える位置まで到達しました。しかし勝負の上智大学戦ではアンラッキーとも言える形での失点から0-1で敗れ、他会場の結果もあり、実質この敗戦で3試合を残して昇格の望みは消えてしまいました。その後も悪天候に見舞われ続け、自分たちの良さが出せない中で3連敗し、最終順位は6位となりました。

今季は前期から後期にかけて大きな戦術的変更を加えたシーズンでしたが、後期良いスタートを切ることができた要因はシステム変更それ自体ではなく、自分たちの持てる戦力を、各ライバルチームとの相対的な力関係の中で最大化してぶつけようという姿勢そのものであったのではないかと、思います。この点は改めて来季以降に活かしていかなければなりません。

昇格を成し遂げられなかった要因はもちろん挙げればキリがないほどありますが、現主将の言葉を借りるならば、やはり前期抱えてしまった「負債」が大きすぎたことに尽きます。後期は勝ち点を重ねながら他チームの結果を見ていましたが、やはりそう都合よく上位チームは負けてくれません。昇格が実感できるようになってくる終盤だとなおさらです。来季はこの点を改めて意識して臨みます。

結果自体は到底満足できるものではありませんが、シーズンを通してチームは大いに成長を遂げられていたこと

は間違いありません。練習を共にした東京ユナイテッドの方々、特に兼任コーチの御三方からは非常に多くのことを学ばせていただきました。また、不甲斐ない試合が続く中でも、変わらずに応援してくださっていた LB 会の皆様・保護者の皆様には大いに勇気を与えていただきました。その他にも様々な形で東大ア式をサポートしてくださった皆様、誠にありがとうございました。来季は 2 部でも下から数えた方が早い序列での戦いになります。改めてチャレンジャーとして全試合全力で臨み、皆様へ、来季こそは胸を張って昇格の報告が出来るよう、チーム一丸となって、粉骨砕身努めてまいります

(文・3 年小椿)

双青戦(京大戦)

7 月 29 日(土)、30 日(日)に恒例の双青戦(京大戦)が行われました。

1 軍戦 7 月 30 日 12:15k. o. @御殿下 G ●0-1

2 軍戦 7 月 29 日 12:45k. o. @御殿下 G ○3-2(北西、松本、日野)

3 軍戦 7 月 29 日 14:40k. o. @御殿下 G ○1-0(鶴田)

OB 前哨戦 7 月 29 日 14:00~@農学部 G 東京大学の勝利

OB 戦 7 月 30 日 10:00k. o. @御殿下 G Over60 △0-0、 Over40 △0-0、 Under40 ○4-2

レセプション 7 月 30 日 15:30~@山上会館

3 軍戦、2 軍戦では勝利することができましたが、1 軍戦では惜しくも敗れてしまいました。

多くの LB 会員の皆様が現役部員の試合に応援に駆けつけてくださり、また、OB 戦に出場、レセプションにご出席いただきまして、本当にありがとうございました。創部 100 周年となる来年はより素晴らしい大会となるよう努めて参ります。今後ともよろしくお願ひします。(文・2 年井上)

[ライトブルーが東大、濃紺が京大イレブン]



[東大の応援団(右側)が初めて、応援に来てくれた！！]



昨季主将 沢登孝介(文学部4年・栄光学園)

昨年度、主将を務めました沢登孝介です。日頃から現役部員に対する多大なるご支援ご声援のほどありがとうございます。昨年度は 1 部復帰を目標として活動してきましたが、結果は 2 部で 6 位というふがいないものでした。岩政大樹さんや林健太郎さんなど、素晴らしいコーチの方々に指導をしてもらえない環境で練習をすることができ、練習の中で成長を実感した反面、逆にコーチ陣に頼りきりで受け身になり、特に何もしなくても周りが何かを自分たちに与えてくれるだろうという甘えもあったと思います。いかに自分たちの問題を主体的に解決しようとするか、そしてそれをいかに継続するかが大切なのだと実感すると同時に、自分たちがその点において未熟であったことを痛感させられました。

後輩達は今年度、より成熟したチームになって絶対に 1 部に復帰してくれると信じています。私もコーチとしてまた 1 年間ア式蹴球部に関わり続けますので、今後とも変わらぬご支援ご声援のほどよろしくお願いいたします。

昨季副将 工藤航(工学部4年・県立湘南)

今年度、副将を務めておりました工藤航と申します。平素より多大なるご支援、ご声援をくださる LB 会の皆様に心より感謝申し上げます。今年度は東京都2部リーグ6位という、目標としていた東京都1部への昇格には遥かに及ばない結果となりました。悔しい思いばかりをした一年間でしたが、確かに得たものもあります。前期の停滞から中断期間を経て後期の好調へと繋げられた経験・そして勢いに乗って挑んでも勝てなかった相手がいたこと。今年得られた全てのことを来年やその先へと繋げていかなければなりません。来年こそ昇格を果たすべく日々精進してまいりますので、今後とも応援よろしく申し上げます。

昨季学生 GM 俣野泰祐(工学部4年・東大寺学園)

お世話になっております。学生 GM を務めておりました四年 俣野泰祐です。今年は結果として非常にふがいない結果となってしまい、前年とはまた違った形で力不足を経験したシーズンとなりました。悔しさの残る一方で、これを必ず人生に生かさなければならぬという強い決意があります。ア式蹴球部卒業生として、自分がまず先頭に立つという覚悟を持って卒部したいと思います。後輩たちには引き続き二部での戦いを強いてしまいました。結果のほかにどれだけのもを残せたかはわかりませんが、少しでも、彼らの来年の飛躍の土台となっていれば幸いです。OB の皆様には現役チームとしても、私個人としても、非常にお世話になりました。本当にありがとうございました。これまでは、運動会ア式蹴球部の絆の深さにただただ感謝し、恩恵にあずかる身でありました。この度 OB の一員とさせていただくにあたって、諸先輩方にしていただいたような、時に温かく、時に厳しく見守る姿勢を、次は私が示していけたらと考えています。

今後ともア式蹴球部現役への変わらぬご支援、ご声援の程、よろしくお願いいたします。

今期の体制

- ・利重総監督 福田監督(男子部・女子部)
- ・学生コーチ； 沢登孝介(文学部4年・栄光学園) 工藤航(工学部4年・県立湘南) 山口遼(工学部3年・鹿島学園) 寺内大貴(工学部4年・東京学芸大学附属) 箭川展(工学部4年・仙台第二) 服部直弘(工学部4年・暁星)

主将 中沖隼(経済学部3年・暁星)



今年度主将を務めさせていただきます中沖隼と申します。平素より現役部員に多大なるご支援賜りまして誠にありがとうございます。

今シーズンは東京都1部復帰を掲げながらも2部6位というあまりにもひどい結果となってしまいました。私は3年間、東大はどこかドライであると感じてきました。次年度は先輩や核となる選手に頼るのではなく、各々が結果に対し覚悟と責任を持って闘争心溢れる集団を目指します。自分達の実力を見つめ直し、小手先の技術や無駄な自信は捨て、真面目に愚直に、相手チームが嫌がるチームになって、必ずや1部復帰を果たせるよう日々鍛錬してまいります。

これからも変わらぬご支援、ご声援の程よろしくお願いいたします。

副将 松坂大和(教養学部理科二類2年・県立藤枝東)



副将を務めさせて頂いている、松坂大和と申します。常日頃よりご支援とご声援を賜り、ありがとうございます。最短での東京都一部リーグ復帰を目指し取り組んだ昨シーズンでありましたが、結果が伴わず6位という不本意な成績に終わってしまいました。

良い試合をしても勝ちきれない、拮抗した試合で競り負けてしまうという東大ア式蹴球部の積年の課題を今年こそ克服し、一部昇格を決め、創部100周年という記念すべき年に花を添えたいと考えております。選手、スタッフ、更には四月に入学してくる新入部員たち全員が勝利を見据えて一丸となって取り組んで参りますので、何卒今後とも変わらぬご支援ご声援の程、よろしくお願いいたします。

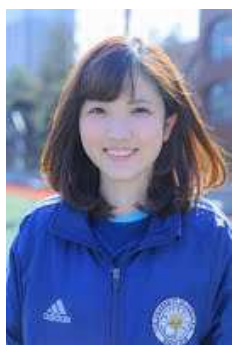
学生 GM 兼主務 糸谷歩(経済学部3年・聖光学院)



平素より多大なる御支援、御声援を賜りありがとうございます。学生 GM 並びに主務を務めております糸谷と申します。1年での東京都1部リーグ復帰を掲げた今季、自分たちの弱さ・未熟さを痛感する結果となりました。現役の活動を支えてくださる皆様に結果という形で応えることが出来ず申し訳ありません。部員の心の中に潜んでいた「何とかなるだろう」という小さな気の緩みの積み重ねがこの結果を招いたと深く自責の念に駆られております。2018年は東京大学運動会ア式蹴球部が創部100年を迎える節目の年であります。選手・スタッフ一丸となって、偉大な先輩方が連綿と紡いでこられた100年の歴史に新たな1ページを刻んで参ります。まだまだ未熟な現役部員ではありますが、今後とも皆様の御支援・御声援のほどよろしくお願い

致します。

学生 GM 小坂彩(経済学部3年・清泉女学院)



平素より現役部員へのご支援ご声援、誠にありがとうございます。今年度学生 GM を務めております、小坂彩と申します。

1年での1部昇格を目指した2017年シーズンでしたが、2部6位という不甲斐ない結果に終わってしまいました。2018年シーズンは、創部100周年という節目の年でもあります。メモリアルイヤーに雪辱を果たすため、私自身は学生 GM としてチームを広く見渡しつつ、テクニカルスタッフとしてチーム強化に努め、さらに運動会総務部の広報局長として運動会のプレゼンス向上にも貢献したいと思っています。皆様のご支援、ご声援は私たちの力となります。今後ともア式蹴球部をよろしくお願い致します。

御殿下サッカースクール責任者:細井隼(教養学部理科一類2年・県立武生)



御殿下サッカースクールの責任者を務めます細井隼と申します。日頃より現役部員にご支援・ご声援をいただき、誠にありがとうございます。

御殿下サッカースクールは昨年度に引き続き、学生主体で運営してまいります。現在約100名が在籍しており、**日曜日の朝の御殿下グラウンドは、サッカーを楽しむ子どもたちと親御さんで大盛況**しております。まだまだ子どもたちを指導するコーチとしては至らない点が多々ありますが、子どもたちが少しでもサッカーを好きになってもらえるよう、そしてご家庭にとって楽しい日曜日になるよう、スクールに関わる他の部員と協力し、試行錯誤しながら精一杯頑張っております。どうぞよろしくお願い致します。また、今年の8月には久しぶりの山中湖合

宿(8/18-20, 2泊3日、



27名参加)を実現することができました。来年につなげて行きたいと思っています。

[取り組み内容]

- ・幼稚園、小学校低学年、高学年の3カテゴリー
- ・クラブチームとは違った「サッカーを自由に、のびのびと楽しむ」 学生コーチが指導
- ・夏季の山中湖合宿、文京区主催ライオンズカップ参加など
- ・年会費；幼稚園～小3；3万円
- 小4以上；2万円
- 父兄；1万円

女子部 関東大学女子サッカーリーグ 3 部 10 位(12 チーム中)

【2018 年新体制】 監督：福田 雅 (男子部の監督と兼任)

主将：水谷 優香 (DF 法 3 年 一宮)

主務：平田 佳織 (DF 理 3 年 豊島岡)

【2017 年度成績】

関東大学女子サッカーリーグ 3 部 10 位、2 勝 9 敗、勝ち点 6、 得点 5、失点 62

1 位 日本大学 2 位 上武大学 3 位 日本女子体育大学 4 位 文教大学 5 位 千葉大学

6 位 成城大学 7 位 東京学芸大学 8 位 東京外国語大学 9 位 中央学院大学

10 位 東京大学 11 位 帝京大学 12 位 埼玉大学

9/3(日) 農学部 G	帝京大学	○1-0	大坪
9/10(日) 文教大学第 3G	文教大学	●0-8	
9/17(日) 日本大学稲城総合 G	日本大学	●0-12	
9/24(日) 農学部 G	日本女子体育大学	●0-17	
9/30(土) 農学部 G	東京学芸大学	●0-2	
10/8(日) 千葉大学西千葉 G	千葉大学	●1-8	嶋野
10/15(日) 農学部 G	東京外国語大学	●1-3	嶋野
11/19(日) 農学部 G	上武大学 (延期)	●0-6	
11/23(木) 成城大学伊勢原 G	成城大学 (延期)	●0-5	
11/5(日) 東京国際大学坂戸第 3G	埼玉大学	○2-0	横堀 × 2
11/12(日) 農学部 G	中央学院大学	●0-1	

【2018 年度主将 水谷優香、DF、法 3 年、一宮】



来年の女子部主将を務めさせていただきます、水谷優香です。常日頃のご支援・ご声援に加え今年は女子部の東大ユニフォームを作っていただき、誠にありがとうございます。女子部も 5 周年という節目の年を迎えることもあり、来年こそはこのユニフォームを着て関東大学女子サッカーリーグに東大単独出場できるよう、新入生の獲得から気合を入れて臨む所存です。そして、今年より多くの試合で勝てるよう、チーム一丸となって日々精進してまいります。今後ともア式女子をよろしくお願いいたします。

主務:平田 佳織

(DF 理 3 年 豊島岡)

L B 会が新調したユニフォーム



埼玉大戦で公式戦初ゴールを含む二得点を

上げた 2017 年度主務 3 年横堀ミラノ



【2017 年度主将 小尾真里奈】

LB 会の皆様、平素より多大なるご支援をいただき、誠にありがとうございます。2017 年度主将を務めました 3 年小尾と申します。今年度女子部にはプレーヤー 4 人(うち経験者 1 人)、スタッフ 1 人が入部致しました。少しずつ部員数が増えているもののシーズン前に怪我人が出てしまったため、今年度も文京 LB レディースのメンバー 3 人が加わり関東大学女子サッカーリーグに出場致しました。

また今年度、LB 会の皆様のご協力によりア式蹴球部女子初めてのユニホームを作っていただきました。心より感謝申し上げます。今シーズンは初戦を勝利で飾ることができましたが、その後強豪校との厳しい戦いが続き目標としていた 3 部 5 位には届きませんでした。今年は農学部 G での試合も多く、沢山の方に観に来ていただきましたが、あまり良い試合を見せることができず、申し訳なく思っております。一方で、1 年生や大学からサッカーを始めた部員がゴールを決めることができ、日頃の練習の成果が出たことを嬉しく思います。今年度無事に活動を全うすることができましたのも LB 会の皆様のご理解ご協力あってこそだと思っております。来年度も部としての発展や個人の成長を目指し日々の活動に取り組んで参ります。今後とも女子部へのご支援ご協力宜しくお願い致します

文京 LB レディース

2015 年春に文京区とア式蹴球部女子が連携して創設され、現在ア式蹴球部女子と週 2 回合同練習を行っているクラブチームです。2017 年度から新たに 5 部に追加登録を行い、3 部に参戦し『上を目指す』文京 LBLadies と、5 部に参戦し「サッカーを楽しむ」文京 LBSprouts の 2 チーム体制となりました。ア式蹴球部女子の部員や OG も出場し、活躍しています。

文京 LBLadies; 都リーグ 3 部 1 試合を残して 7 勝 1 敗 2 部昇格決定

(6/18) 帝京大学○2-0 戸枝、成瀬 農 G (7/2) 東京学芸大学女子サッカー部 ; ○2-0 成瀬 学芸 G
 (8/6) FC 駒沢女子○1-0 成瀬 小石川 G (8/27) 吉祥女子サッカー OG○9-2 大坪×2、戸枝、小倉 農 G
 (9/17) ラガツァ FC○3-1 小石川 G (10/1) 青梅 FC ビクトリー○2-1 戸枝、佐藤 農 G
 (11/19) 城南ビクトリア●0-1 農 G (11/26) NSC○1-0 大多和 農 G
 (12/17) なかの SC 農 G

文京 LBSprouts ; 都リーグ 5 部 B ブロック 6 位 (8 チーム中) 2 勝 1 分 4 敗 8 得点 41 失点

(6/18) 創価大学女子サッカー部 ○2-0 農 G 田中×2、(7/2) FC 町田ボニータ●0-12 農 G
 (7/16) 十文字高等学校 ●0-12 ICU (7/23) 調布 FC ステラ □5-0 (不戦勝)、
 (8/6) FC 町田ゼルビアレディース●0-13 小石川 G (10/1) キディ FC △1-1 農 G
 (11/19) 大崎クラブすみれ●0-3 農 G



得点してチームメイトと喜ぶ大坪選手(背番号 10)4 年法学部

・LB 若手結果 ともに残留

・東大 LB（若手の LB が頑張っています）

東京都社会人 **3 部リーグ**；2 ブロック **2 位（昨年も 2 位）** 勝ち点 24 8 勝 3 敗 27 得点 10 失点

・東大 LB second（ア式の 3 軍、スタッフ、若手 LB の混成チーム 昨年結成し、2 年目）

東京都社会人 **4 部リーグ** 2 ブロック **7 位（昨年は 4 位）** 勝ち点 14 4 勝 4 敗 2 分 13 得点 14 失点

「東京ユナイテッド FC」

関東社会人 **1 部リーグ**；**3 位** 勝ち点 30 8 勝 6 敗 4 分 40 得点 17 失点

五月祭 【東京大学運動会ア式蹴球部 五月祭企画】 これからの「サッカー」の話をしよう。

日時 5/20(土)11:00~12:45

場所 法学部一号館一階 22 番教室

主催 東京大学運動会ア式蹴球部

昨年に引き続き、今年も五月祭にてパネルディスカッションを行った。今回は創部 100 周年を来年に控えた特別企画となり、これまでの 100 年の歴史に敬意を払いつつも、これからのア式蹴球部とサッカー界に焦点が当てられた。様々な形でサッカー界に身を置くパネリスト達が独自の視点でサッカーを語り、現役部員も登壇した。男子部、女子部それぞれの代表者が、普段からリーグ戦のピッチで感じていることや、学生の思う今後の展望を述べた。

会場には企画に興味を持った学生や社会人、OB の方々など 100 名余りが集まった。質疑応答の時間には、多くの質問があり、サッカービジネスに関することから岩政コーチのキャリアについての質問まで多岐にわたった。

【第一部 東京大学サッカー部を、地域に根差した強豪チームへ】

パネリスト 福田 雅 （東京大学運動会ア式蹴球部 監督）

岩政 大樹 （東京大学運動会ア式蹴球部 コーチ）

沢登 孝介 （東京大学運動会ア式蹴球部 2017 年度主将）

工藤 航 （東京大学運動会ア式蹴球部 2017 年度副将）

大坪 佳夏子（東京大学運動会ア式蹴球部女子 2016 年度主将）

ファシリテーター 清水 克洋 （名古屋グランパスエイト 社長付主査）

・ア式蹴球部が強くなるために

今年からア式蹴球部のコーチに就任した岩政コーチは、「誤解を恐れずに言えば、ア式を強くしようとは考えていない」と話した。サッカーに内包される様々な要素を学び、今後の人生に生かすことこそが、現役部員に必要なものだと感じているようだった。例えば、サッカーにおいて大事なものは個人の判断である。その集合としてチームが作られるのであり、チームとしての枠組みを先に作っても意味はない。社会に出ても同じような課題が存在すると述べた。

それを受けて男子部主将沢登、副将工藤の二人は、シーズン当初はチームとしてどう戦うかを軸にしていた考えが、岩政コーチによって個人の力や特徴に立脚したもの変わったと話した。岩政コーチは、一つのプレーに対しても、理由や動機を徹底的に追及するそう。そのような指導を受ける中で、サッカーに特効薬はなく、個人の日々の積み重ねが強いチームを創ることを実感している様子だった。

続いて岩政コーチに、どうして現在の環境を選んだのかという質問が投げかけられた。岩政コーチはサッカー選手をキャリアの一つのステップととらえており、将来を見据えた選択として、「選手兼コーチ」を選んだという。さらに、ア式蹴球部を巻き込んだ「東京のど真ん中にビッグクラブを」というクラブの取り組みを「面白い」と感じたと言った。

東京ユナイテッドには、岩政コーチと同様にその理念に共感する元プロ選手や強豪大学出身選手が多く名を連ねる。沢登は改めて、チーム強化の観点において、ユナイテッドとの合同練習は非常に重要だと話した。チーム力の底上げのためには、よりレベルの高い選手と日々練習することが、個人の成長の上限を引き上げる。現役部員は新たな環境での自分の成長を強く実感している様子だった。

・地域に根差したチームとして

また、強化だけに留まらない多彩な活動が紹介された。ア式蹴球部女子は、地域コミュニティの一つとしての活動を重視しており、文京区公認女子サッカークラブである文京 LB レディースの運営も行っている。昨年度主将の大坪を含めた女子部員はこういった活動から多様な刺激を得ている様子だった。男子部では、オフシーズンに全国から進学校を招く高校サッカー大会（東大サッカーフェスティバル）や、日曜朝に小学生以下の子供を指導する、御殿下サッカースクールでの地域貢献などが紹介された。これらの活動ではほとんどの部員が運営に携わり、サッカーへの貢献を日々学んでいる。

・ピッチ内外の活動がもたらす新たな価値

沢登は、こうしたピッチ外での様々な活動がア式蹴球部の魅力を創り、ひいてはピッチでの勝利につながると語った。また大坪は、地域コミュニティの一つとしての女子サッカー部の活動が、地域のスポーツ文化を醸成し、健康寿命の延伸、社会保障費の削減などの社会問題解決につながればと期待を込めた。

岩政コーチはこれらの話を受けて、生涯スポーツというテーマで日本が大きく動き出そうとしている中で、東大ア式蹴球部の卒部生に是非貢献してほしいと話し、現在のア式蹴球部の活動を高く評価していた。

企画を傍聴した現役部員も改めてそれらの重要さに気づかされた様子で、今後の部活動に向け気持ちを新たにしたい。

・100 年への敬意と新たな挑戦

前半の最後には総括として、福田監督からア式蹴球部のクラブデザインについての説明があった。

福田監督によると、東京ユナイテッドを巻き込んだ構想の狙いは主に下記のようにまとめられる。

1. オンザピッチでの成長

レベルの高い選手と練習することで個人の成長を促す。

2. 部活運営の限界の打破

都リーグ参加や環境整備など、部活の運営費用がかさむ中で、ア式蹴球部が核となって一つの地域クラブを運営し、資源を共有することで金銭的な問題を解決する。

3. 東京大学サッカー部としての新たな価値

現在までの 100 年の実績に敬意を表しつつ、今後は競技力とは違った部分での価値提供が求められてきている。地域コミュニティのハブになっている女子サッカー部がいい例であり、地域との繋がりにおいて重要な役割を担っている。

【第二部 日本の“成長産業”、スポーツ界を東京大学はいかにリードしていくべきか】

パネリスト

利重 孝夫（東京大学ア式蹴球部 総監督）

福田 雅（東京大学ア式蹴球部 監督）

清水 克洋（名古屋グランパスエイト 社長付主査）

後半はスポーツビジネスに深く関わる三人の指導者・経営者が登壇し、フリートークという形で、よりマクロな「サッカー」が語られた。冒頭に改めて三人の自己紹介が行われた。福田監督はア式蹴球部と東京ユナイテッド運営の傍ら、JFA（日本サッカー協会）の監事を務めており、利重監督はシティフットボールグループで国際的なサッカーの潮流を身近で感じている。また、清水氏はヴィッセル神戸など J リーグ所属チームの経営を通じ、サッカークラブ経営という現場の経験を数多く持つなど、三者三様の視点が明らかとなった。

・日本スポーツ界における変化

初めの話題は清水氏による問題提起で始まった。近年サッカーを取り巻く環境は非常に整備されてきており、大学サッカーにおいても同様だという。旧来アマチュアと呼ばれた場所に、多くの「プロ」が侵食してきており、それ

が上記のような環境を生み出していると話した。日本政府もスポーツ産業を基幹産業にしようと取り組みを増やしており、スポーツ未来会議や日本版 NCAA が話に上がった。

福田監督は日本版 NCAA について言及し、日本スポーツがアメリカと同じような NCAA 創設により急激に発展することは、比較的困難だと述べた。日本の文化・慣習などを考慮すると、大学スポーツが直接、商業的に儲かることは難しいと話し、だからこそ地域と連携して競技を盛り上げることや、優秀な人材を輩出することの重要性を主張した。そのような中での自身の活動にも触れ、OB チームが東京ユナイテッドの母体であった慶應や東大などは人材の宝庫であり、その中から自身の後進となる人材、将来のスポーツ産業を担う人材を育てることが自身のテーマの一つであると述べた。

利重総監督は、スポーツは世界では成長産業である一方、日本では市場規模も比較的小さく、改善の必要があると述べた。

・東京ユナイテッドの挑戦

日本スポーツの財政規模が小さな原因として、特にサッカーにおいて都心にビッグクラブが存在しないことがある。利重総監督によると、J クラブには大きく分けて二種類が存在し、

親会社があり、経営規模が比較的大きなクラブ

親会社が存在せず、経営規模の小さなクラブ

と大別できる。総監督は、東京ユナイテッドの経営はどちらでもない全く新しいものを目指していると述べた。親会社がないため自由な意思決定が可能であるだけでなく、大規模なスポンサーシップなどにより経営規模を大きく保とうとしている。

清水氏は、人材育成という視点で東京ユナイテッドを評価し、個人のファーストキャリアとしての J クラブへの就職はハードルが高い中で、東京ユナイテッドと東京大学ア式蹴球部とのコラボレーションは非常に価値があるとした。商業的、経営者的な視点をもって活動ができる部活は非常に珍しく、在学中からどんどんクラブ経営に触れてほしいと学生に呼びかけていた。

・東大ア式から「基幹産業」を担う人材を

続いて清水氏は人材というテーマについて、自身のキャリアと照らし合わせながら東大ア式蹴球部員への期待を語った。J リーグは創設 25 周年を迎えようとしており、一般的に最初の 10 年は選手のプロ化、次の 10 年が指導者のプロ化、次の 10 年が運営のプロ化とも言われている。しかしクラブ経営に向けたキャリアパスは未だ不透明であり、その事実がサッカー界の停滞感につながっていると警笛を鳴らした。そのような過酷な環境の中で、東大ア式蹴球部などを卒部した学生が、自分でキャリアを切り開いていく必要があると強く訴えていた。自身は東大卒業後、キャリアを模索する中で、J クラブ社長などを経験し、今後も自分自身で道を開きながら、後進がたどる道を用意したいと話した。

一方で利重総監督は、人材を輩出する先はクラブだけでないと述べた。スポーツが社会に大きな影響を与えるためには、クラブや協会だけでなく、企業・クライアントサイドにもスポーツへの理解が必要だ。今後は、スポーツマーケティングを理解し、リーダーシップを発揮する人物を一般企業などに輩出することがより重視されると強調した。具体例として、五月に発表されたトヨタ自動車と JFA（日本サッカー協）のスポンサーシップを挙げた。このスポンサーシップは単に企業がスポーツ組織に広告費としてコストを支払うだけでなく、企業側にとっても、うまく利用すればスポーツを通じた能動的な商業活動が可能となる良い例であるということだ。これは企業側にスポーツマーケティングについてのリーダーシップが存在したからこそ実現した提携であり、クライアントサイドに優秀な人材を輩出することでこのような取り組みが増加してほしいと、利重総監督は述べていた。

最後に福田監督は、シンポジウムの締めくくりとして、ア式蹴球部員に向けてメッセージを述べた。上述のような人材の育成・排出が期待される中で、ア式蹴球部員が今やるべきことはアスリートマインドを鍛えることだとい

う。これからの日本スポーツを担うのは「アスリートマインドを持ったビジネスパーソン」であり、将来日本をリードする人材になるためにも、常に目の前のリーグ戦にこだわって、勝利を掴んでほしいと話した。

終わりに

来年で100周年を迎える東大ア式蹴球部に在籍する私達は、このクラブが今まさに一つの転換期を迎えようとしているのを感じている。過去に積み上げた伝統や栄誉に対する憧れと渴望は、メンバーがいくら入れ替わろうと毎年尽きることがない。毎年レベルが上がっているように見える大学サッカーの世界で爪痕を残すためには、東大ならではの伝統と、同じく常識を打ち破る力が必要となる。

一方、そうして必死に勝利を求める中で、底知れぬサッカーの価値に気づく。私達は、サッカーに惹かれ、サッカーに繋がれ、また教えられている。ピッチ内外に充滿するその価値をあらゆる場で感じ、考え、体現する。まさに、「リードする」ことが今後の自分たちに求められているのを感じる企画となった。

文責 東京大学運動会ア式蹴球部 4年 俣野泰佑

会員の訃報

次の会員の方々がお亡くなりになりました。ご冥福をお祈りします。

- ・ 広瀬 一郎（昭和54年卒）本年5月2日に逝去されました。享年61歳でした。
- ・ 故岡野 俊一郎氏を偲ぶ会（2/2逝去、享年85歳）開催



5月24日（水）に日本サッカー協会主催で文京シビックホールにて盛大に行われました。浅見前理事長が弔辞を読まれました。

またLB会として、S29卒の菊井、三輪さんをはじめ、浅見前理事長他の岡野さんと御殿下グラウンドでボールを蹴った世代の方々24名が集まり、同日の17時より「語る会」を開催しました。

左の写真は、語る会の一コマ。裏面に写真と出席メンバーを掲載しています。

LB会の活動報告

部室建替えについて(12/9の理事会で審議され、承認された内容です)

1、着工の進捗、

3月の総会では、1月着工が遅れ、最速でも4月着工、9月完工の予定となることを報告しています。これに合わせて、解体工事は2月中旬に始める予定でした。実際には、解体工事は、2月20日に取り掛かり、2月末に終了し、3月1日には第1回の埋蔵文化財調査も完了。3月22日の東京都の建築確認申請を得るための審査会を待つばかりとなりました。

しかしながら、審査会はOKが出たのですが、その後東京都の建築課の担当者の人事異動により、再度、各種の質問が出され、そのやり取りに大幅な時間がかかり、また同時に申請している野球部のブルペン工事の質疑等に手間取りました。結果として、都の内部での承認が得られて、消防に回り、また都に戻って最終の建築確認申請の手続きが終了したのは7月末になりました。

それから鉄骨等の材料を発注し、お盆明けに最終の埋蔵文化財の立会を行い、基礎躯体の工事開始は今の所、8月21日の予定です。完成は来年の2月中旬、官庁検査を経て竣工・引渡しは2月下旬の予定です。総会で報告した予定から5カ月遅れとなってしまいました。

ここまでの8月の理事会で報告された内容で、以下はその後12月までの経過を報告します。その後、工事は予定通り順調に進み、足元は柱・梁、屋根工事が終わり、外壁張りも終了し、内装に取り掛かっている。その間に、9月になり基礎躯体工事中に、テニスコートとの間の樹木5本（当初の計画では周囲の景観保全のため、保持が求められていた）を、倒壊の危険があるということで、安全確保を優先して伐採せざるを得なかった。

この伐採に関しては、施設部から日東工営が報告書の提出（10/13）と植栽部会長（下村教授）への説明（11/7）を求められた。その結果として、（まだ結論は出ていないが）周辺に新規に植栽を求められる可能性が大きい。これらの伐採及び植栽費用に関しては、工事に伴うものとして、LB会として追加負担せざるを得ないことをご了解いただきたい（伐採費用は77万円、新規植栽費用はこれから）。過去にテニスコートとの間の樹木で旧部室の底が壊れたことがあり、樹木がなくなったことは、新部室にとっては今後の維持管理上、極めて有益である。その他、テニス部との間の境界フェンスについて、計画より短くし費用節減を図った。

2、寄付された大学基金の内容

- ・3月18日の定時社員総会での報告数字

大学基金への寄付；建替え指定（63,792,000）＋指定なし（8,699,245）＝72,491,245円

- ・9月末時点での大学基金への寄付；74,572,093円＋企業から年内に寄付100万円あり。

3月総会時点より約310万円（95％で290万円）増額した（企業からの寄付が260、生協から22、その他LBから）。

3、日東工営（工事業者）との契約・価格交渉

- ・大学と日東工営との契約について

1）設計・解体契約；864万円（税込み）については契約、払い込み終了（5月末）

2）新築工事契約；58,547,880円（税込み）については、6月末に契約は完了。大学からの払い込みは工事完成後一括支払いの予定（2018年4月ごろ）。

3）設計・解体契約＋新築工事契約合計；67,187,880円

- ・LB会と日東との最終価格交渉（以下紙面の都合から別紙は割愛しました）

2016年3月の日東の見積もり78.7百万円（税込み85百万円）に対して、同年の8月ごろにLB会より税込みで68百万円（20%引き）にしてほしいとの値引き要請をした。これに対して日東の一次回答は税前で68百万円（税込みで7344万円）（ここまでは8月の理事会での報告）。

・その後、基礎躯体工事が終了した今年の11/1付で、追加工事分として、496万円（税込み）が新たに請求された（当初は見込んでいなかった、主に解体工事に伴うテニス部室との電気・ガス・給排水等の分岐工事費用他）。

・従って、日東の値引き後価格7344万円と追加工事分496万円＝7840万円（税込み）に対して、大学基金で6719万円を支払予定であり、その差1121万円が日東からLB会に対しての請求額となる。

- ・これに対して、更なる値引き交渉を行い、280万円（1121万円に対して25%引き）値引きを実現した。

- ・結果として、841万円が、日東からのLB会に対する請求額（概算）となる（詳細は別紙の日東の文書を参照）。

但し、今後の仕様の変更や新規の植樹費用等が発生した場合は別途請求が来る。

特に新規の植樹については不可避と思われるので、その分の支出があれば次回報告したい。

4、LB 会としての資金状況と今年度の決算処理について

・LB 会の口座にある資金の状況（2017 年の収支は除く）

① 2016 年 12 月 31 日時点での部室寄付預り金；495 万円

② 2016 年 12 月 31 日時点での繰越利益；386 万円 計 881 万円

なお、今年 3 月の総会において、LB 会口座から日東への支払額については、「上記の部室寄付預り金（495 万円）を上回った場合は、LB 会の会計から補てんすることとします」との了解を得ている。

・従って現時点で、部室寄付預り金と昨年の繰越利益の範囲内で、LB 会から日東への支払い金額は、賄える見通しである。今後、12 月中に、日東から追加費用も含めた請求書が LB 会に出される予定であり（概算で 841 万円）、これについては今回の理事会で承認を頂ければ、支払いにつなげて行きたい。支払時期については、12 月に請求書が出され、1 月末に支払う予定である。また 12 月末日においては（資金としては未払い計上にはなるが）、費用計上した決算処理を行うこととしたい。以上の日東への支払いと今年の決算処理について、理事会のご承認をお願いしたい。→理事会の承認を得られたので、上記通りの処理とします。 以上

2018 年（百周年）の年間スケジュール（予定） 12/9 の理事会で報告された内容です。

現時点の予定であり、事前に必ず LB 会事務局、学生等にご確認ください！

- ・次回理事会；2 月 17 日（土）10 時半—12 時半 @御殿下研修室
- ・第 12 回東大 LB 会定時社員総会・理事会；3 月 17 日（土）10 時半—12 時半@新部室 2 階ミーティングルーム
- ・新部室お披露目の立食パーティー； 3 月 17 日（土）13 時—14 時半@新部室 2 階ミーティングルーム
- ・卒部式；3/25（日）予定@2 食、 新入生入部式；4/29（日）予定
- ・前期リーグ戦開幕（4 月～）
- ・5 月祭（5 月中旬）；2016、2017 年の連続パネルディスカッションに続く企画を検討中。
- ・京大戦；7 月 29 日（日）@御殿下グラウンド、レセプションも予定（会場未定）山上会館は工事中で使用不可、7 月 28 日（土）に OB の前夜祭も予定しています。多数の参加を！
- ・後期リーグ戦開幕（8 月下旬）、 理事会（8 月）
- ・ホームカミングデイ；10 月下旬 宮城県亘理（わたり）町のスポーツ少年団との招待試合を検討中。例年通り OB 戦も。多数の参加を！
- ・百周年記念パーティー；12 月 8 日（土）18 時より（予定） 帝国ホテルを予約済です。
内容や招待者等については、これから検討し、皆さんに周知できるようにします。

- ・100 周年記念誌の編集・発行；90 年史は、2008 年 12 月に「東京大学サッカー 闘魂 90 年の軌跡」と題して浅見前理事長を委員長とする編集委員会により発刊されました。その後 10 年が経過しようとしています。また御殿下サッカースクールが 50 周年を迎える記念すべき年でもあります。一方で、この 10 年間には、LB の若手やシニアの活動も大いに盛り上がっています。
そこでこれらの活動を振り返り、これからの 100 年を展望する記念誌としたいと目論んでいます。
具体的な内容については、これからチームを組んで検討していきます。
2018 年の秋ごろの完成を目指します。
今後、LB の皆さんには、座談会、インタビュー、寄稿、資料の提供等、多々ご協力をお願いすることになると と思いますがよろしくお願いします。

LB クラブ (S40 卒の樋口氏より記事を頂いています)

LB の 70 歳以上の活動は、2012 年に始まった 0-70 の SFL リーグへの参加に加え、今年から始まった 0-75 の SFL-75 への参加がメインとなっています。今年の SFL は SFL-75 のスタートに伴い、試合数が昨年度から半減しており(8 チーム 2 回総当たりから 1 回総当たり)、且つ、1 日に 20 分ハーフの試合を 4 試合消化するだけの時間のグラウンド確保ができないので、毎月 1 回の試合日に 2 チームは試合が無いと言う状況で、11 月末現在で全 7 試合の内 6 試合を終えたチームがある一方 LB クラブは 4 試合を終えたばかりとなっています。戦績は 2 勝 1 敗 1 分けの勝ち点 7 ですが、12/15、1/12、2/6 の残る 3 試合で優勝が狙える位置にいます。12 月と 1 月の試合は現在 1、2 位の武蔵野 70 及び四十雀 70 ですので、これ等を直接叩き、2 月の最終戦は現在最下位の八王子 GM から勝ち点 3 を確実に挙げると言う算段です。

SFL-75 の方は、4 つの混成チームが、毎回 15 分ハーフの試合を 2 試合宛行うという形でリーグ戦が行われています。1 日の試合は変則的で、A・B・C・D の 4 チームが集まり、A : B の前半、C : D の前半、A : B の後半、C : D の後半の順で行い、その後相手を変えて、A : C 前半、B : D 前半、A : C 後半、B : D 後半とやって 1 日を終わります。11/10 迄に第 6 節までを終えており、こちらも 12 月～2 月で残り 3 節を行う予定となっています(4 チームで 6 回総当たりのリーグ戦です)。LB のメンバーは現在僅差(勝ち点 24 と 23)で 1、2 位を争っているチームにそれぞれ 1 人と 2 人、そして引き分けだけで勝てていない最下位のチーム(勝ち点 5)に 4 人参加しています。

SFL の方は 20 分ハーフですが全 7 試合のリーグ戦なのに、SFL-75 は 15 分ハーフと短いとは言え全 18 試合となっており、試合数の差に 0-70 としては割り切れないものがあります。

リーグ戦以外では、9/16、17 の両日行われたスーパーエイジサッカー大会 in 刈谷のロイヤルの部(0-70)にこれまで京大 OB との連合軍で参加していたのですが、初めて単独で参加しました。今年は藤枝での大会と連続するとのことで、ベテランの部(0-60)の参加が無かったのは寂しいことでしたが、0-70 が頑張りました・・・と言っても戦績は 1 勝 2 敗だったのですが。

そして 11/11 には藤枝で藤枝 FC との間の恒例となった「金丸仁杯」の争奪戦が行われました。0-50、0-60、0-70 の各カテゴリーで対戦し、トータルの得失点で勝負を決める方式を採っています。昨年は辛勝してカップを手にしりましたが今年は残念ながら 3 試合とも零敗に終わり、カップを逃してしまいました。

・LB50/60(S49 卒笠原氏、S58 卒中谷氏より記録を頂いています)

今年、前半は S51 の池森さん、後半は S58 中谷さんのマネジメントにより、楽しい交流が実現！

< 2016 年 12 月以降の東大 LB シニアの試合 >

■ 12 月 17 日 (土)、18 日 (日)	藤枝 FC 40 周年記念大会 @ 藤枝総合運動公園 G 他	LB 70 / 60 / 50
■ 1 月 7 日 (土)	千葉大 OB 戦 (若手) @ フクダ電子アリーナ	LB 45 / LB 55
■ 1 月 8 日 (日)	蹴り初め会 (シラク / 一橋大 OB) @ 東大農学部 G	雨天・低温のため中止
■ 2 月 5 日 (日)	千葉大学 OB 戦 (シニア) @ フクダ電子アリーナ	LB 55 / LB 65 / LB 70
■ 2 月 11 日 (土)	なでしこ OG 戦 @ 検見川総合運動場 G	LB 50 / LB 60
■ 2 月 18 日 (土)	東北大学 OB、二子玉シニア @ 江戸川陸上 G	LB 60
■ 3 月 4 日 (土)	七大学 OB サッカー大会 @ 市原スボレクパーク	若手 / LB 40 / LB 60
■ 3 月 11 日 (土)	パレス FC 親善試合 @ 東大農学部 G	L 55 / LB 65 / LB 70
■ 3 月 19 日 (日)	対シラク、杉並リベルタ @ 三菱養和 (巣鴨 G)	LB 60
■ 3 月 20 日 (月 / 祝)	対墨東秋桜、広島チーム @ 江戸川陸上 G	LB 60
■ 4 月 8 日 (土)	対一橋大学 OB @ 東大農学部 G	LB 50 / LB 60
■ 4 月 15 日 (土)	対世田谷 60 @ 私学事業団 G	LB 60
■ 4 月 22 日 (土)	対北大 OB、千葉大 OB (この試合以降、東大 LB シニアのマネジメント交代 (池森→中谷) @ フクダ電子フィールド	LB 50 / LB 60

- 4月23日(日) 東京シニア大会 @東京ガス武蔵野苑G LB60
- 5月3日(水/祝) 3大学OB定期戦 @東大検見川総合運動場G LB50/LB60/LB70
- 5月 6日(土) 対東京シニアクラブ、江東五区 @東大農学部G LB60

以上は、前号(No17)で掲載済み

- 6月10日(土) 対杉並60、墨東秋桜 @東金町運動場 LB60
- 7月29日(土) 京大戦前哨戦 @東大農学部G LB40/50/60
- 7月30日(土) 京大戦 @東大御殿下G LB
- 8月19日(土) 対栄光学園OB @東大御殿下G LB50/60
- 9月 2日(土) 対北大OB、防衛大OB @私学事業団G LB40/50/60
- 10月21日(土) 対スポ愛OB(ホームカミングディ) @東大御殿下G LB50/60
- 11月 3日(金/祝) 3大学OB定期戦 @東大検見川総合運動場 LB50/60/70
- 11月11日(土) 金丸杯(対藤枝FC) @藤枝市民G LB50/60/70
- 11月25日(土) 対千葉大OB、埼玉大OB、福島大OB @東大農学部G LB50/60
- 12月 2日(土) 対一橋大OB、学芸大OB @東大農学部G LB50/60
- 12月 9日(土) 蹴り納め会 @東大御殿下G LB40/50/60

・公式戦:クラウンリーグ(東京都60雀リーグ)

2勝5敗2分 7位の墨東60と同勝ち点ながら得失点差で第8位となり**来季は2部降格**

- | | | | |
|----------|-----------|------|-----------|
| 2月12日(日) | 対WKU | ○1-0 | にいじゅくみらいG |
| 2月25日(土) | 対PET | ●1-4 | 赤羽SMサッカー場 |
| 3月 4日(土) | 対LAZOS | ●0-3 | 大井第二球技場 |
| 3月25日(土) | 対トキオ | ●0-1 | 赤羽SMサッカー場 |
| 5月21日(日) | 対東京シニア | ○2-0 | にいじゅくみらいG |
| 6月17日(土) | 対墨東60 | △1-1 | 大井第二球技場 |
| 7月 1日(土) | 対四十雀60 | ●0-2 | 大井第二球技場 |
| 7月16日(日) | 対北区シニア | ●1-2 | にいじゅくみらいG |
| 9月24日(日) | 対新宿マエストロス | △0-0 | 大井第二球技場 |

LB 会費納入率向上キャンペーンを実施し、大きな成果を上げました。ご協力感謝!

今年は、昨年の会費が350万円と、15%減少したことから、理事、代議員他や現役を通じ、会費納入率の向上キャンペーンを実施しました。その結果12月11日時点で316人、439万円余り納入いただきました。大変有難うございます。今年の会費納入者一覧表を後掲しています。来年もよろしくお願い致します。

LB 会費納入のお願い; 下記のいずれかで振込をお願いします! 口座名義人はいずれも「東大LB会」です。

- ・ゆうちょ銀行口座への振込の場合は、同封の振込用紙に必要事項を記入(口座振替者には同封してません)。
- ・三菱東京UFJ銀行 日本橋支店(020) 普通預金(5125311)
- ・みずほ銀行 日本橋支店(038) 普通預金(2213920)

会費担当; 吉澤伸明(S50卒) 携帯; 090-7395-9559、メール; aya8423@opal.dti.ne.jp

LB会費納入者一覧表 (H25～H29) H29欄には1月から12月11日までの振込実績を記入。

2017年 12月11日現在

卒年	氏名	H25	H26	H27	H28	H29		卒年	氏名	H25	H26	H27	H28	H29		卒年	氏名	H25	H26	H27	H28	H29	
S14	田村 三郎(逝去)	12	12	12				S41	水澤 雅武	12	15	15	15	15	基金	S51	影本 浩	12	12	12	12	12	口座
S18	渡辺 隆二	12		12				S41	渡辺 翼		24	12	12	12	郵便	S51	田中 靖	12	12	12	12	12	口座
S23	高崎 達也	12	12	12				S42	草野 千夫					75	郵便	S51	谷本 篤信	12	12	12	12	12	口座
S25	丸山 智信	12	12		12			S42	熊谷 貞俊	12	12	12				S51	堀井 茂	18	18	18	18	18	口座
S27	秋山 榮	12	12	12	12	12	三菱	S42	小柳 理	12	12			12	郵便	S51	御園 慎一郎	12	12	12	12	12	口座
S27	菊井 維正	12		24	12	12	三菱	S42	坂井 忠昭	15	15	15	15	15	口座	S51	南谷 尚志	12	12	12	12	12	口座
S27	三輪 嘉晟		12		12	12	郵便	S42	鳥原 光憲	15	15	15	15	15	口座	S51	宮武 明	12	12	12	12	12	口座
S27	吉富 裕	12	12	12	12	12	郵便	S42	三浦 重	12						S52	池田 吉彦	15	15	15	15	15	口座
S28	柴沼 明	12	12	12	12			S42	見米 紘一	12	12	12	12	12	郵便	S52	岩田 武史	15	15	15		30	郵便
S28	坪田 亜規良	15	12		24			S42	吉田 茂男	12	12	12	12	12	口座	S52	加藤 重和	15	15	15	15		
S28	中原 壯六	12	12	12	12	12	郵便	S43	小西 敏夫	12	12	12	12	12	口座	S52	藤原 真一	15	15	15	15	30	三菱
S29	金井 弘夫	12	12		24			S43	諏訪 勝久	12	12	12	12	12	口座	S52	三島 茂	12	12	12	12	12	口座
S29	川辺 正行	12	12	12	12	12	口座	S43	中井 省	12	12	12	12	12	口座	S52	森井太一(逝去)	12	12	12			
S30	折原 一雄	12	12	12				S43	小川 恭二	12	12	12	12	12	口座	S53	青山 研一郎	12	12	12	12	12	郵便
S30	鈴木 美暢	12		12				S43	小林 将志	15	15	15	15	15	口座	S53	阿部 吉弘	12	12	12	12	12	口座
S30	深見 浩一		12					S43	中尾 捷	12	12	12	12	12	郵便	S53	井田 淳	12	12	12	12	12	口座
S31	浅見 俊雄	21	21	21	21	21	口座	S44	石田 祐幸	12	12	12	12	12	口座	S53	加川 実	12	12	12	12	12	口座
S31	岡野俊一郎(逝去)	15			45			S44	大町 達夫	12		12				S53	潜道 隆	12	12	12	12	12	口座
S31	片山 義朗	12	12	12	12	12	口座	S44	加納 研之助	12	12	12	12	12	口座	S53	本庄 孝志	12	12	12	12	12	口座
S31	山本 修	12	12	12	12	12	口座	S44	北川 薫	12	12	12	12	12	口座	S53	牧野 尚雄		12				
S32	片原 清	12	12	10	14	12	みずほ	S44	杉山 健一	12	12	12	12	12	口座	S53	山崎 隆志	12	12	12	12	12	口座
S32	倉田 日出男	12	12					S44	小林 喜一	12	12	12	12	12	郵便	S54	上村 司	12	12	12	12		
S32	嶋田 武夫	12	12	12	12	12	口座	S44	友定 正治		12	12		12	郵便	S54	岸戸 健			36			
S32	津田 義久	12	12	12	12	12	口座	S44	永峰 富一	12	12	12	12	12	口座	S54	広瀬一郎(逝去)	12	12	12	12		
S32	原 靖二郎	12	12	12	12	12	口座	S44	鍋島 厚	12	12	12	12	12	口座	S54	宮 恭久	12	12	12	12	12	口座
S33	井田 信雄	10	10					S44	馬郡 貴司	12	12	12	12	12	口座	S54	吉江 建一	12	12	12	12	12	口座
S33	西野 宏	18	18	18	18	18	三菱	S44	松岡 誠也	12	12	12	12	12	口座	S54	吉野 元章	15	15	15	15	15	口座
S33	浜口 幸久	12	12	12		24	三菱	S44	数内 俊和	15	15	15	15	15	口座	S55	青山 市三	12	12	12	12	12	口座
S34	畔柳 敏雄	15	15	15	15	15	口座	S45	小菅 恭彦	12	12	12	12	12	口座	S55	飯島 正	12	12	12	12	12	口座
S34	佐藤 芳夫	12	12		12			S45	小柳 望	12	12	12	12	12	口座	S55	井田 陽彦	12	12	12	12	12	口座
S34	長崎 充博			20	12			S45	佐藤 吉見	15	15	15	15	15	口座	S55	大塚 伸宏	12	12	12	12	12	口座
S35	伊野部 元彦	12	12					S45	武田 厚	21	21	21	21	21	口座	S55	柿木 真澄	12			12	12	みずほ
S35	小山 富士夫	30	30	30	30	30	口座	S45	田代 康之	15	15	15	15	15	口座	S55	菊地 保冒			12	12	12	口座
S35	長濱 毅			36	12			S45	新倉 正和		12					S55	佐藤 敦郎	12	12	12	12	12	口座
S35	福田 泰二	12	12	12	12	12	口座	S45	樹井 成夫	12	12	12	12	12	口座	S55	湊 和則	12	12	12	12	12	口座
S36	足立 格一郎	12	12	12				S45	吉崎 英雄	15	15	15	15	15	口座	S55	宮崎 洋	12	12	12	12	12	口座
S36	野澤 保一郎	12	12	12	12	12	口座	S45	渡辺 宏	12	12	12	12	12	口座	S56	安藤 豊	12	12	12	12	12	口座
S36	松村 保	12	12	12				S46	小原 正	12	12	12	12	12	口座	S56	牛窪 健一	12	12	12	12	12	口座
S37	名越 英夫	21	21	21	21			S46	鹿島 文行	12	12	12	12	12	口座	S56	田中 聡	12	12	12	12	12	口座
S38	梅村 洋	21	21	12	12	12	みずほ	S46	金丸仁(逝去)	12	12	12				S56	福田 信夫	12	12	12	12	12	口座
S38	高橋 一修	15	15	15	12	12	みずほ	S46	古村 一郎	12	12	12	12	12	三菱	S56	松元 明弘	12					
S38	中村 紀雄	12	12	12	12	12	口座	S46	櫻井 英人	12	12	12	12	12	口座	S57	赤星 克彦	12	12	12	12	12	口座
S38	門馬 建	9	9	9	9	9	口座	S46	清木 俊行	15	15	15	15	15	口座	S57	飯島 敦	12	24		12	12	郵便
S39	安達 二郎	15	15	15	15	15	口座	S47	赤松 秀樹	12	12	12	12	12	口座	S57	坂田 中	12	12	12	12	12	口座
S39	宇尾 誠一	15	15	15	15	15	口座	S47	大日向 明	12	12	12	12	12	口座	S57	志水 利彰	12	12	12	12	12	口座
S39	小川 肇	12	12	12	12	12	口座	S47	金武 貢	12	12		12	12	郵便	S57	川村 公一		24	15	24	12	郵便
S39	熊沢 英男	15	15	15	15	15	口座	S47	黒沢 秀樹	12				48	郵便	S57	福沢 伸哉	12	12	12	12	12	口座
S39	後藤 雅治	15	15	15	15	15	口座	S47	俵 新			12		12	三菱	S58	安 秀和	12	12	12	12	12	口座
S39	中島 宏介	12	12	12	12	12	口座	S47	手島 直幸	15	15	15	15	15	口座	S58	植田 浩	12	12	12	12	12	口座
S39	長田 綏男	12	12	12	12			S47	戸井 正明	12				12	郵便	S58	熊倉 政宣	12	12	12	12	12	口座
S39	八田 洋	12	12	12	12	12	口座	S47	宮路 康利	18	18	18	18	18	口座	S58	斎川 路之	12	12	12	12	12	口座
S39	森 紘一	12	12	12	12	12	口座	S48	上妻 達也					60	三菱	S58	中野 北斗					60	みずほ
S39	山浦 紘一	12		12	12			S48	井上 正嗣			15	12	12	郵便	S58	高木 智			12		24	三菱
S39	山田 隆哉	12	12	12	12	12	郵便	S49	内田 純司	15	15	15	15	15	口座	S58	中谷 知弘	12	12	12	12	12	みずほ
S39	吉田 慶次	12	12	12	12			S49	岡田 滋行	12	12	12	12	12	口座	S58	橋本 晴充	15	15	15	15	15	口座
S40	新井 佼一	24	12	12				S49	笠原 昌行	15	15	15	15	15	口座	S58	和田 康太郎	15		30	15	15	口座
S40	石田 金次郎	15	15	15	15	15	三菱	S49	佐々木 順孝	12	12	12	12	12	口座	S59	荒川 文男					12	郵便
S40	石光 豊	12	12	12	12	12	口座	S49	山本 眞一	12	12	12	12	12	口座	S59	柴田 周	12	12	12	12	12	口座
S40	太田 直幹	12	12	12	12	12	口座	S49	西澤 良徳	12	12	12	12	12	口座	S59	赤城 庸人	15	15	15	15	15	口座
S40	加藤 義章	12	12	12	12	12	口座	S49	三田 四郎	12						S59	田中 琢二			12			
S40	川瀬 隆弘	12	12	12		24	郵便	S50	天野 裕	12	12	12	12	12	口座	S59	萩原 豊	6	6	6	6	6	口座
S40	畔柳 信雄	12	12	12	12	12	口座	S50	遠藤 譲	12	12	12	12	12	口座	S60	伊藤 洋	12	12	12	12	12	口座
S40	小林 邦彦	12	12	12	12	12	口座	S50	磨井 祥夫	12	12			24	郵便	S60	小野 平	12	12	12	12	12	口座
S40	樋口 周嘉	30	30	30	30	30	口座	S50	大高 松男	12	12	12	12	12	口座	S60	久井 大樹	12	12	12	12	12	口座
S40	深澤 重幸			12				S50	尾崎 哲男	21	21	21	21	21	口座	S60	衛藤 公洋					12	郵便
S40	間宮 誠一郎	12	12	12	12	12	口座	S50	柴田 敏之	12	12	15		24	郵便	S62	佐藤 哲治	15	15	15	15	15	口座
S41	河島 洋征	18	18	18	18	18	口座	S50	兵頭 圭介	34	30	30	30	30	口座	S62	鈴木 修二	12	12	12	12	12	口座
S41	香山 晋	15	15	15	15	15	口座	S50	山中 馨	12	12	12	12	12	口座	S63	今井 勝典		12		12	12	郵便
S41	武田 勝年	15	15	15	15	15	口座	S50	山辺 福二郎	12	12	12	12	12	口座	S63	金子 健紀	15	15	15	15	15	口座
S41	中岡 智信	3	3	3	3	3	口座	S50	吉澤 伸明	30	30	30	30	30	口座	S63	久保田 健	12	12	12	12	12	口座
S41	野村 晋作	15	15	15	15	15	口座	S50	松下 兼幸	12	12	12	12	12	口座	S63	鹿園 直毅	12					

卒年	氏名	H25	H26	H27	H28	H29	
S63	浜田 穂太郎		24	18			
S63	外野 雅彦		12			12	郵便
S63	山本 武志	12	12	12	12	12	口座
H1	大久保 将之	12	12	12	12	12	口座
H1	後藤 裕一		12	12			
H2	安藤 拓朗					12	みずほ
H2	小幡 健太郎	12					
H2	鹿取 正信		15				
H2	金元 輝	12	12	12	12	12	口座
H2	金児 敦弘			12			
H2	熊岡 尚	12	12	12	12	12	口座
H2	黒木 博史			10			
H2	住谷 安史	12	12	12	12	12	口座
H2	中村 文彦	12	12		12	12	郵便
H2	橋本 昌司	12		12		12	郵便
H2	早野 裕	12	12		24	12	みずほ
H3	荒巻 俊也					12	三菱
H3	小島 恭					12	郵便
H3	白枝 哲次	12	12	12	12	12	口座
H3	津村 健司		12			30	郵便
H3	平岡 洋	12	12	12	12	12	口座
H3	山口 壱和	12	12	12	12	12	口座
H3	山田 祈一		24			12	三菱
H4	天野 賢一	12	12	12	12	12	口座
H4	稲村 孝史	12	12	12	12	12	みずほ
H4	加藤 久直			20			
H4	荻野 哲弘		12				
H4	早間 央	12	12	10			
H4	嶋田 陽介	12			12		
H4	中村 一朗	12	12	12	12		
H4	蟻川 明男	12	12	12	12	12	口座
H4	前沢 重男		12	12			
H5	岡垣 啓司	12	12	12	12	12	口座
H5	大西 啓介		20				
H5	星川 佳広	12				48	三菱
H5	島上 浩二	24				48	みずほ
H5	堀江 弘一郎					12	三菱
H6	藤原 英正	12					
H6	霜島 弘則			36			
H6	西原 基史					12	みずほ
H7	大川 幸樹				12	12	口座
H7	高橋 康之		12				
H7	吉川 健司	12	12	12	12	12	口座
H7	分部 隆夫	24	30				
H8	神田 毅			12	12		
H8	鈴木 智典	12	12				
H8	古川 弘之	15	15	15	15	15	口座
H8	前川 圭吾			45			
H8	松田 直樹	12	12	12	12	12	口座
H9	江口 英樹	12					
H9	竹内 眞之介	12		12			
H9	村岡 哲郎	24		24			
H10	秋山 淳				60		
H10	萩原 隆之	15					
H10	端本 昌夫	12					
H10	菱沼 紀行		24				
H10	矢野 将文		15				
H11	大谷 聡	12	12	12	12	12	口座
H11	小林 政雄		12				
H11	永井 伸		24				
H11	日高 直俊	12		12			
H11	樋渡 類	12	12	12	12	12	口座
H11	宮川 尚久	15	15	15	15	15	口座
H11	永守 大輔					12	口座
H12	伊地知 亮太	3	3				
H12	下田 修平	12		12			
H12	新倉 一郎	12					
H13	足立 雅人					12	郵便
H13	五十嵐朝青	30					
H13	伊藤 陽介	12	12	12	12	12	口座
H13	小川 和聖		12	12		15	口座
H13	我部 有	12	12	12	12	12	口座

卒年	氏名	H25	H26	H27	H28	H29	
H14	沖野 泰之	3	3	3	3	3	口座
H14	柿木 充	18	18	18	18	18	口座
H14	光井 逸平	12	12	12	12	12	口座
H14	山中 直岐	6	6	6	6	6	口座
H14	南谷 梨沙	12					
H15	都島 豪志	12	12	12	12	12	口座
H15	緒方 崇裕			60		12	みずほ
H15	小野 高志	12	12	12	12	12	口座
H15	中島 大智	15	15	15	15	15	口座
H15	米山 雅也	12	12	12	12	12	口座
H15	胡内 健一	12	12	12	12	12	口座
H15	新山 通世	12	12	12	12	12	口座
H15	吉田 寛	12	12	12	12	12	口座
H16	河島 清貴	12	12	12	12	12	口座
H16	小松 幸広	12	12	12	12	12	口座
H16	清 雄一	15	15	15	15	15	口座
H16	高橋 康一	12	12	12	12	12	口座
H16	賛川 俊	15	15	15	15	15	口座
H16	茂木 高志			12	12	12	みずほ
H16	渡部 雅史	12	12	12	12	12	口座
H16	渡辺 勇樹	12	12	12	12	12	口座
H17	河村 俊太郎	3	3	3	3	12	口座
H17	坂本 優	12	12	12	12	12	口座
H17	瀬谷 洋平	3	3	3	3	12	口座
H17	辻 正太	15	15	15	15	15	口座
H17	一言 正之	15	15	15	15	15	口座
H17	牧 尚史	15	15	15	15	15	口座
H18	朝倉 赳	12	12	12	12	12	口座
H18	岩田 真吾	12	12	12	12	12	口座
H18	上土居 悠	15	15	15	15	15	口座
H18	梶原 康嗣	3	3	3	3	12	口座
H18	北村 篤司	3	3	3	3	12	口座
H18	鈴木 陽子	12					
H18	寺田 宏幸	12	12	12	12	12	口座
H18	福島 周作	3	3	3	3	3	口座
H18	宮副 照久	3	3	3	12	12	口座
H18	山崎 浩平	12	12	12	12	12	口座
H19	赤木 升	12	12	12	12	12	口座
H19	池田 亮一	12					
H19	石黒 雄一	12	12	12	12	12	口座
H19	今西 康雄					12	みずほ
H19	金子 泰拓	12					
H19	河村 卓修	12	12	12	12	12	口座
H19	斎木 拓郎	3	3	3	3	3	口座
H19	西村 直紀	3	3	66	12	12	口座
H19	御殿下サッカースク	36	36	36			
H20	青木 宏	12	12	12	12	12	口座
H20	明石 篤	12	12	12	12	12	口座
H20	碓 知也	12	12	12	12	12	口座
H20	池田 暁彦	3	3	3		3	口座
H20	伊藤 貴寛	12	12	12	12	12	口座
H20	菊月 達也	3	3	3	3	12	口座
H20	木野本 朋哉	12	12	12	12	12	口座
H20	杉山 翔一	3	3	3	3	21	口座
H20	畑中 計政	6	6	6	6	6	口座
H20	水口 智					50	
H20	宮本 雅之	12	12	12	12	12	口座
H21	大沢 拓巳	12	12	12	12	12	口座
H21	小園 健太	12				36	三菱
H21	鈴木 亮平		15	15	15	15	郵便
H21	高橋 信行					12	三菱
H21	千布 勇気		12	12		24	三菱
H21	中川 隆	12				48	三菱
H21	中島 悠司		24			12	三菱
H21	那須 雄介	6					
H21	林 敏	12	12	12	12	12	口座
H21	船本 洋平	12	12			12	みずほ
H21	水澤 仁雅	15	15	15		24	三菱

卒年	氏名	H25	H26	H27	H28	H29	
H22	後藤 遷也	3	3	3	3	3	口座
H22	深田 啓介	3	3	3	3	3	口座
H22	村上 達哉	12	12	12			
H22	望月 進司			36			
H22	吉田 航太郎	3	3	3	3	12	口座
H23	久木田 紳吾	12	12	12	12		
H23	佐藤 裕人	36	12			36	みずほ
H23	白井 英介					12	三菱
H23	松谷 康平	3	3	3	3	3	口座
H24	鈴木 康平			12			
H24	野中 尚輝					3	郵便
H24	蒔田 祐貴			12	12	12	口座
H24	三浦 良介	12					
H24	宮川 啓輝			12		12	郵便
H25	入松川 知也			3	3	3	口座
H25	鈴木 宏樹	12	12		12	12	口座
H26	上原 大樹			15		15	郵便
H26	植松 黎			3		6	口座
H26	遠藤 有香			3		12	郵便
H26	大島 優迪		12	12	12	12	口座
H26	大園 隆太			24		12	三菱
H26	片山 元			12		24	三菱
H26	賀茂 駿介		3	3			
H26	吉清 裕一			12			
H26	小林 三奈美		10				
H26	中川 雄貴			12			
H26	長尾 林太郎			3	6		
H26	広川 英司			6			
H26	光永 尚史				24		
H26	矢野 慎一			12	12	12	口座
H26	宮城 朋果			24			
H26	山川 剛		3	3	12	12	口座
H26	山口 裕吾		6	6	12	12	三菱
H26	山崎 華奈子		3				
H27	日下 暢之					24	郵便
H27	榊原 和洋					3	三菱
H27	濱田 悠司					3	みずほ
H28	花嶋 陽				3	3	郵便
H28	嶺川 一喜				3		
H28	坂本 晋吾					12	みずほ
H28	中西 大貴				3	3	みずほ
H28	池田 濯				3	3	口座
H28	金瀬 宇彦				12	12	口座
H28	近松 岳洋				12	12	口座
H28	辻 淳之				3	3	口座
H28	増田 貴行				3	3	口座
H29	鈴木 咲絵子					12	郵便
H29	高野 陽介					12	三菱
H29	中間 雅之					12	口座
H29	新見 豪太					12	口座
H29	渥美 真生					3	三菱
H29	富山 潤一					12	口座

注記：1月～12月納入を当該年の会費
とします

H20: 269人、3472千円
H21: 300人、3815千円
H22: 338人、4400千円
H23: 347人、4447千円
H24: 343人、4451千円
H25: 310人、3944千円
H26: 304人、3868千円 (H26.4月～12月)
H27: 311人、4159千円 (H27.1月～12月まで)
H28: 278人、3,562千円 (H28.1月～12月)
H29: 316人、4,392千円 (H29.1月～12月11日)

4,392 316 316



5月3日の3大学（慶応、早稲田 との定期戦 検見川）

良い天气に恵まれて LB50, 60, 70
の多数のメンバーが、試合を楽しみま
した！懐かしい検見川の天然芝のグラ
ンドで、昔の強豪チーム相手に、いつ
までも元気に試合を楽しめるのは本当
に素晴らしいことです！

5月24日(水)17時よりLB会による「故岡野俊一郎氏を語る会」を開催@文京シビックホール 25階のレストラン



S27 卒の菊井さん、三輪さんをはじ
め浅見前理事長など岡野さんと一
緒に御殿下グラウンドでボールを蹴
った LB が 20 人以上集まり、岡野さ
んの思い出を語った。

出席メンバー（敬称略）；菊井（S27）、
三輪（S27）、折原（S31）、浅見（S31）、
楠田（S31）、稲井（S32）、山本（S32）、
嶋田（S32）、津田（S32）、西野（S33）、
畔柳（S34）、佐藤（S34）、小山（S35）、
福田（S35）、山川（S35）、長濱（S35）、
野澤（S36）、本林（S36）、松村（S36）、
梅村（S38）、故服部氏夫人の圭以（た
まい）さん）事務局；武田理事長
（S45）、和田次長（S58）、吉澤（S50）

以上 24 人



9月2日（土）

北大、防衛大との3校 対抗戦

@私学事業団 G

LB40,50,60 が集まり、
楽しい交流戦！

防衛大（ブルー）は
人数も多く、手強い。
北大（イエロー）も健
闘。